

分野別No.	該当箇所	意見内容	対応状況
全体	SDGs	SDGsは、総論のどの項目に追加するのか。	<p>○ 第3回審議会において説明済み ⇒ 総論の「後期基本計画における主要課題」の中で、個別の課題ではなく、前段として、「今後SDGsの視点を持って、各課題に対応していく」という内容を追加する。</p>
全体	海外移住者及び地域コミュニティ	<p>今後海外からの移住者が増加すると見込まれるため、地域コミュニティの受入体制づくりが必要になる。また、少子高齢化が進展する中、地域コミュニティを安定させるためには、海外移住者も重要な要素の1つになりうるので、将来的な地域コミュニティのあり方として何らかに触れるべきである。</p>	<p>○ 総論の「後期基本計画における主要課題」の中で、地域で支え合う仕組みづくりの内容の一部として、趣旨を追加する。 ⇒ 「町民の誰もが地域で安心して暮らし続けられるために、様々な社会的及び文化的背景に左右されることがなく多様性を尊重し、地域で支え合うためのしくみや基盤づくりなどに取り組んでいくことが必要となります。」</p>
全体	町の魅力	<p>計画は、町としてのメッセージにつながるものであるため、町の魅力を前面に出していくべきである。 「首都圏への通勤・通学の便利さ」「健やかなにのびのびと暮らせる町」など、自然環境ではなく、生活の利便性は、移住者へのPRとしてとても大きな強みになる。</p>	<p>○ 総論の「後期基本計画における主要課題」の中で、個別の課題ではなく、前段に趣旨を追加する。 ⇒ 町は、自然の豊かさだけでなく、「首都圏に近い」という立地や交通環境上の便利さや「豊かな自然の中で、子どもが健やかにのびのびと成長できる」という自然環境上での魅力も生かしながら、中期基本計画に基づいて、まちづくりを取り組んできました。」</p>
全体	表現方法	<ul style="list-style-type: none"> 町民に分かりやすい表現を使用すべきである。もしくは、言葉の説明を追加すべきである。 説明が不足すると誤解が生じる恐れがあるため、内容説明は丁寧に行うべきである。 	<p>○ 修正 ⇒ 極力専門用語等は使用せず、町民に分かりやすい表現に修正し、丁寧な説明を行う。ただし、専門用語以外に置き換える表記が無い場合は、別途、文言の説明を加える。</p>
1-1 7-2	<p>重点 1-4 人口減少社会でも活力あるコミュニティの形成 分野 1-1 社会福祉 7-2 地域コミュニティ支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各内容に「地区のあり方の見直し」との表記があるが、どういう想定か。 町民に方向性が分かるように、表記に工夫をするべきである。 	<p>地区のあり方の見直し ○ 第3回審議会において説明済み ⇒ 地区長を中心とした20地区、小学校区、地区社協など、多様に地域活動を行う地区を総合的に捉えた上で、再編に向け検討していく予定である。今後、地域とともに現状と課題等を踏まえ検討していく。</p> <p>表記について ○ 修正なし ⇒ 現在、町で地区割のあり方などについて各分野における課題、方向性などを整理している。町民には整理した情報を踏まえたうえで、丁寧な説明を行い、地域とともに検討していくため、表記の修正はしない。</p>
3-1	生涯学習・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 【現況と課題】の1行目に記載のある「余暇時間」の表現は、現在ほとんど使用していないため、修正するべきである。 3-1-1「生涯学習推進の仕組みづくり」において、「生涯学習」は、学習活動にとどまらず、地域活動へと還元することが最終目標となるため、そのようなニュアンスを盛り込むべきである。 	<p>○ 表記修正 野次類【現況と課題】 (文中1行目)「人生100年時代を迎え人生設計の多様化が進む中、～」 3-1-1「生涯学習推進の仕組みづくり」 ⇒ (文中2行目)「～町民が主体的に取り組む学習活動に加え、その学習成果を還元する活動を含めた生涯学習の仕組みづくりを進めます。」</p>

3-2	歴史・文化	基本構想には、町の将来像に「人と暮らし、文化を育む自然が豊かな町」と表記があるのに対し、文化の内容が薄いと感じる。	○ 修正なし ⇒ 基本構想で示す「文化」と分野別方針で示す「文化」の定義が異なるため。 ※ 基本構想の文化 …食文化、服飾文化など人の思考・行動様式を示した広い意味での文化 ※ 分野別方針の文化 …芸術や地域の歴史・文化財など、基本構想の文化の一部を示すもの
4-1	土地利用・住環境 施策「二宮海岸の砂浜の再生」	概要は、都市マスタープランも参考にすべきである。	○ 表記追加 ⇒ 「台風災害により失われた砂浜の再生と安全確保を図るため、国・県と連携・協力します。」
	土地利用・住環境 施策「二宮海岸の砂浜の再生」 ※ 審議会委員からの追加意見	5-1「環境保全」の現況と課題には、「砂浜の浸食被害等が課題となっています。」と海岸について触れられているのに対し、4-1「土地利用・住環境」では、4-1-3の施策「二宮海岸の砂浜の再生」以外特に触れられていないため、5-1に移動した方が良いと感じる。	○ 表記追加 ⇒ 【現況と課題】 「都市計画マスタープランに基づいて、自然環境や住環境において、秩序ある快適で安全・安心なまちづくりを推進します。」 ※ 「二宮海岸の砂浜の再生」は、都市づくりと環境保全の2つの観点に関連するものであるが、砂浜の再生により人々の交流・活動拠点を整備するという基盤づくりの観点から、4-1「土地利用・住環境」に位置付ける。
5-3	防災 ※ 審議会委員からの追加意見	(文中1行目)「熊本地震」が追加されているが、大規模な停電や、造成地の地盤問題、大規模崩落など全国的な課題を提起するきっかけとなった「北海道胆振東部地震」の方を例示としてあげるべきである。	○ 表記追加 ⇒ (文中1行目)「～東日本大震災や熊本地震、北海道胆振東部地震などといった地震災害や、」 ※ 「熊本地震」については、地震発生をきっかけにして新庁舎建設の議論がされたため、表記は残す。
6-2	商工業	内容が現状のみに特化されているので、将来的に発展していく部分にも内容を触れるべきである。	○ 表記追加 ⇒ 【現況と課題】 (10行目)「さらに、ICT環境の飛躍的な向上により、場所や時間に制約されることなく、柔軟に働くことができる環境が全国的に整備されつつあることを踏まえ、将来的に、枠組みに囚われることのない多様なサービスの可能性も視野にいれ、商業振興を進めていく必要があります。」
6-2	商工業	「町民のニーズ」という表記があるが、商工業の発展のためには、外貨を稼ぐことが必要となるので、「町民」という枠ではなく大きな枠での表現に変更するべきである。	○ 表記修正 ⇒ 「消費者のニーズ」に統一
6-2	商工業 施策「商工業の振興」	施策に「二宮ブランド」がなくなり、施策「商工業の振興」の中でも表記が薄いので、町として取り組みを行わない、もしくは力を入れないという誤解につながるため、表現を修正すべきである。	○ 表記修正 ⇒ 「町内中小企業の発展に向けて、町商工会や金融機関等と連携し、各事業所の機能が十分発揮され、消費者のニーズに応えられる商工業の振興を図ります。また、商工会が主導で推進している「二宮ブランド事業」では、町が特産物として普及・奨励しているオリーブの商品化や販売を促進することで、地域ブランド力の更なる向上を図ります。そのために、町は農商工連携のより一層の強化を含む取り組みに必要な支援を行います。さらに、商工会や金融機関等と連携して、事業者や町民等による創業に対して支援の強化を図っていきます。」

6-2	<p>商工業 施策「商工業の振興」 ※ 審議会委員からの 追加意見</p>	<p>「関係者との農商工の連携を強化し、推進します。」の「関係者との」の表記が分かりづらいので、削除すべきである。</p>	<p>○ 表記削除</p>
7-1 7-2	<p>自治 地域コミュニティ支援</p>	<p>ボランティアグループ、ボランティア活動団体など表記が統一すべきである。</p>	<p>○ 表記修正 ⇒ 「ボランティア活動団体」に表記を統一</p>
7-3	<p>行財政運営 施策「公共施設の適正な維持 管理・再編」</p>	<p>重点3-1「新庁舎整備による安全・安心な町の拠点づくり」の中に、「新庁舎」及び「地域集会所」の表記があるので、分野別方針の中でも表記をするべきである。例えば、「7-3-4 公共施設の適正な維持管理・再編」で触れるといいのではないか。</p>	<p>○ 表記追加 ⇒ 「また、町民の安全・安心を確保し、質の高いサービスを提供するため、機能性や経済性に優れた新庁舎の整備を進めます。」 ※ 地域集会所は、二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の中に含まれているため、表記の追加をしない。</p>